

令和6年度第2回鎌倉市子ども読書活動推進計画に関する連絡会議 次第

日時 令和6年(2024年)11月21日(木)

15:00~16:30

場所 中央図書館多目的室

- 1 第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画の進捗について
- 2 学校・施設へのアンケートについて
- 3 新深沢図書館へのご意見ご要望について
- 4 その他
 - ・情報交換等
 - ・次回の開催について

配付資料1 第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画取組事業一覧

- 2 第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画の進捗状況
- 3 【学校】読書環境アンケート
- 4 【学校】読書環境アンケート集計結果2024
- 5 【施設】読書環境アンケート
- 6 【施設】読書環境アンケート集計結果2024
- 7 新深沢図書館へのご意見ご要望について

4 第4次 鎌倉市子ども読書活動推進計画取組事業一覧【令和5・6年度(2023・4年度)中の実績】

重点事業には★がついています。

事業内容		担当(担い手)	令和5・6年度(2023・4年度)中の実績
1 家庭・地域における取組			
1	親子参加型の講演会、市内在住のさまざまな分野の人材による講演会などの催しを地域の協力を得て開催	中央図書館・保育課・こども支援課・青少年課	鎌倉市在住の絵本作家・長野ヒデ子氏に紙芝居について講演していただいた(2023.6.16本の海サポーターズ交流会62人)。
2	★読書に関する情報を中高生が自ら発信できる場づくりを充実	中央図書館	中学校の職場体験学習にて、YAコーナーの棚づくりを行った(深沢図書館において大船中、御成中 2023)。ビブリオバトルを玉縄学習センターで実施予定(2025.1.18予定)。
3	地域で活動している人々やボランティアと協力して、おはなし会などのイベントを開催	中央図書館・関連団体・ボランティア	浄明寺子ども会からの依頼で、都市景観課と協力し、旧華頂宮邸で、ハロウィンのおはなし会や本の貸出を行った(2023.10.28 おはなし会31人)。
4	保護者や地域で活動している人々に向けて絵本の読み聞かせ、読書・わらべうたについての情報提供・講座の開催	中央図書館・市民健康課・保育課・こども支援課	第一小学校図書ボランティアから依頼があり、読み聞かせ講座を訪問サービス(講師派遣)として行った(2023.11.7 11人)。
5	保護者・保育士・幼稚園教諭を対象とした、「絵本や紙芝居の読み聞かせについての講座」などニーズに合わせた講座の開催	中央図書館・幼稚園・保育園・保育課・認定こども園	長谷幼稚園からの依頼で、読書会の絵本の選定などを行った。2024年度は、訪問サービス(講師派遣)をし、「絵本・図書館の魅力」についておはなしをし、懇談した(2024.6.13 21人)。
6	妊婦向けおはなし会の開催	中央図書館・市民健康課	玉縄図書館でおなかのあかちゃんと楽しむおはなしかい(妊婦向けおはなしかい)を実施(2023.12.16 3組4人)。2024年1月からはあかちゃんと楽しむおはなしかいに妊婦とその家族も参加できるようにした。玉縄子育て支援センターと共催で「おなかのあかちゃんと、よちよち歩きのあかちゃんと楽しむおはなしかい」を実施。(2024.8.1 38人)

読書へのきっかけづくり

7		ブックスタート事業の実施	中央図書館・市民健康課・こども支援課	2005年から継続実施。6か月児育児教室で行っているが、ブックスタート・フォローアップも継続している。 2024年9月から試行で多言語訳のついた絵本を、海外にルーツのある子どもに配付できるようになった。(2024.9～)
8		幼稚園・認定こども園・保育園での絵本の読み聞かせ、本の紹介の充実	幼稚園・保育園・保育課・認定こども園	アンケートの結果からも読み聞かせなどを実施している様子が伺える。
9	読書へのきっかけづくり	子育てサークルや保育園・幼稚園、子育て支援センター、放課後子どもひろば・子どもの家等へのおはなし会などの訪問サービスのPRと充実	中央図書館・幼稚園・保育園・認定こども園・こども相談課・青少年課	市内の子育て支援センター(市内4館)に月に1度、近くの図書館から訪問サービスとしておはなし会を実施している。図書館から遠い地域では、絵本の貸出も行っている。 2024年度は図書館から遠い地域の放課後かまくらっ子・うえき、せきやへ訪問サービスを実施した。放課後かまくらっ子・うえきは夏休みに図書館へ訪問してくれ、今後も長い休みを活用して、訪問受け入れを検討中。
10		「どくしょのノート」(読んだ本を記入していく冊子)の配付	中央図書館	ホームページからダウンロードできるようにしている。また、こどもの読書週間のクイズの景品にしたり、図書館見学で配布したりしている。
11	子どもに関わる施設の充実	子育て支援センターの蔵書の充実(市内の全ての施設での充実)	中央図書館・こども相談課	希望した施設へは、寄贈本やリサイクル本の譲渡を行った(2024.1～2/2024.11～12予定)。
12		放課後子どもひろば・子どもの家の蔵書の充実(市内の全ての施設での充実)	中央図書館・青少年課	希望した施設へは、寄贈本やリサイクル本の譲渡を行った(2024.1～2/2024.11～12予定)。
13		保育園の図書コーナーの充実(市内の全ての施設での充実)	中央図書館・保育課・保育園・認定こども園	希望した施設へは、寄贈本やリサイクル本の譲渡を行った(2024.1～2/2024.11～12予定)。
14	情報発信の収集	保護者に向けた、本や図書館のPRの充実	中央図書館・小学校	玉縄子育て支援センターのおはなし会では、3か月に一度保護者に向けて絵本を1冊読んだり、ブックリストの配付を行っている。幼稚園・保育園・認定こども園に図書館のおはなし会の日程を配付(2024年度～)
15		読書に関する情報を「かまくら読書活動支援センター」で積極的に収集	中央図書館	学校図書館ポータルサイト「探調COMMU」で図書館と学校図書館がつながることができ、様々な情報交換をしている。

16	情報の収集と発信	市ホームページの子育て支援情報のページなど、インターネットを活用した子どもの読書に関する支援情報のPR	中央図書館・市民健康課	図書館ホームページでおすすめの本を紹介している。ラインではおはなし会や行事のPRをしている。
17		読書関連のイベント情報やPRなど、情報発信の場としてケーブルテレビ・FM局などの地元メディアやツイッターを活用	中央図書館	X(旧ツイッター)で行事について発信し、PRしている。鎌倉朝日で、「としょかんいんになってみよう」の記事掲載(2024)
18		本の紹介リストを「かまくら子育てメディアスポット」等市内各所で配布、インターネットで配信	中央図書館	本の紹介リストの配布、配信を継続的に行っている。
19		図書館司書と幼稚園教諭・保育教諭・保育士とが情報交換ができる場の設定	中央図書館園・幼稚園 保育園・保育課 認定こども園	長谷幼稚園へ訪問サービス(講師派遣)に行き、懇談会をし、情報交換ができた(2024.6.13 21人)。

2学校における取組

20	読書へのきっかけづくり	学校での読書環境づくりのための子ども同士のブックトークの支援・本の紹介リストの配布など	小学校・中学校・高等学校 中央図書館	図書館から1学期の終わりごろ、「よんでみない？」を提供し、学校で配布。学校図書館部会へ参加し、ブックトークの実演を行った(2024.1)。
21		学級文庫の充実(子ども読書パックの活用) 学校図書館の利用方法の指導・調べ学習への支援	小学校・中学校・高等学校 中央図書館	子ども読書パックを貸出。
22		調べ学習のための資料の充実(学習パックの活用)	小学校・中学校・高等学校 中央図書館	学習パックや学校貸出セットを貸出。学校図書館でも資料の充実に努めている。
23	学校図書館	★学校図書館でのデータの活用及び蔵書数、蔵書内容の充実	小学校・中学校・高等学校 教育指導課	さらなる蔵書数や蔵書内容充実のため、予算の確保に努めている。
24		学校資料収集方針・選定方針策定の推進	小学校・中学校・教育指導課 中央図書館	学校資料の収集・選定については、司書教諭や担当職員が中心となり、教職員が全体で方針を決定している。
25		★中学校図書館がなるべく多く開館し、中学生と読書・図書館を結びつけるよう機能の充実を図る。	中学校、教育指導課	保護者と協力して放課後の学校図書館開館に努めている中学校もある。

26		★利用しやすい学校図書館づくり。本や図書館に興味を持つよう、学校図書館でテーマ展示を行う。放課後子どもたちが学校図書館に行き、本を借りたり、過ごしたりできるようにする。	小学校・中学校・高等学校	展示を行うなど利用しやすい学校図書館作りは、学校図書館専門員・読書活動推進員が中心に行っている。
27	連携	蔵書の所蔵データを調べものや蔵書管理の効率化につなげるため、相互活用ができるための連携の仕組みづくりへの取組	小学校・中学校・高等学校・教育指導課・中央図書館	—
28		市図書館から小中高等学校図書館への学校貸出しや搬送の充実	小学校・中学校・高等学校・教育指導課・中央図書館	学校へ学習パック等学校貸出を行っている。搬送は委託契約しているが、2023年度から年18回から27回へ増やすことができた。
29	連携	学校で、本の読み聞かせやおはなし会、ブックトークなどの訪問サービスの実施 中学校、高等学校に関しては学校図書館見学等の働きかけを継続し、学校司書・司書教諭、教員との情報交換 学校図書館の利用案内等のPR	小学校・中学校・高等学校・教育指導課・中央図書館	学校からの依頼により、学校図書館へ訪問し、除籍等のアドバイスをしたり、情報交換を実施している(2023.12 山崎小学校・玉縄小学校 2024.1大船中学校。2024.3小坂小学校訪問)。 図書館部会に参加し、絵本やブックトークの講座を行い、学校司書・司書教諭・教員との情報交換を行った(2024.1)。
30		学校図書館と市図書館の連携の充実(学校司書と市図書館の懇談会の開催など)。中学校・高等学校に関しては、継続した連絡・調整を行う体制作りの検討	小学校・中学校・高等学校・教育指導課・中央図書館	深沢高校とは定期的に連絡をとり、図書館で募集した「図書館de一句」に応募してもらったり、高校から提供される「KO本」の展示を実施した。 鎌倉市教職員対象図書館実務研修の際に、教員や学校司書と懇談の機会をもった(2023.7/2024.8)。 図書館部会に参加し、学校司書や教員と懇談できた(2024.1/2024.11)。 2024年度は年度当初に県立高校4校と私立中学高校2校へ訪問し、学校司書と情報交換をした(2024.4~5)。

3図書館・行政機関における取組

31		乳幼児と一緒に来館しやすく、居心地よく過ごせるよう環境整備	中央図書館	アンケートに寄せられた声をもとに、おはなしのへやや児童コーナーのレイアウト変更をするなど、環境整備に努めている。
32		★【新規】居場所としての図書館機能を充実させる。子どもたちが何の目的もなく来られたり、気兼ねなく来館し、自由に本を選び、くつろげる空間とサービスの提供	中央図書館	日々、そのような空間となるよう努力している。特に新しい図書館ではよりいっそう子どもたちの居場所となる図書館を検討している。

33	施設	利用しやすい図書館づくり(配架の工夫やレイアウトの改善、展示など)	中央図書館	各館おおよそ1カ月に1度は展示を替えている。それぞれの図書館で配架の工夫やレイアウト変更を実施している。
34		子どもの本の案内人である「こどもほんしえるじゅ」のキャラクター「かますけ」を通して、子どもと本をつなぐ活動の実施	中央図書館	かますけのバッジをつけて、フロアワークをし、子どもの本の相談にのれるよう、気を配っている。
35		★【新規】新たな図書館の整備に向けて、子どもも利用しやすいゾーニングの検討。「にぎやかな図書館」をめざす	中央図書館	新しい図書館の検討では、子どもも利用しやすいゾーニングを考えている。
36	資料	蔵書数、蔵書内容の充実	中央図書館	継続実施
37	読書相談	リクエストへの対応・レファレンス(調べ物や読書相談)への対応の充実	中央図書館	継続実施
38	行事	子どもと本をつなぐ行事の充実(こどもの読書週間における子どもの参加型の行事、一日図書館員など)	中央図書館	コロナ禍で中止していた「としょかんいんになってみよう(一日図書館員)」「ぬいぐるみのおとまり会」など実施した。(2023/2024)
39		各館で開催している年齢別おはなし会(あかちゃんと楽しむおはなしかい(0・1歳向け)、おひざにだっこのおはなしかい(2・3歳向け)、おはなし会(4歳以上)の充実	中央図書館	平日に開催しても人数が集まらない図書館では、土日に実施することで参加人数が増えるなど、工夫し、効果がでている。
40		図書館見学・職場体験などを通して、子どもたちが図書館に親しむ機会を提供	中央図書館・小学校・中学校	図書館見学は主に休館日に受入している。職場体験は2023年度から再開した。
41		★ヤングアダルト対象の行事の開催	中学校・高等学校・中央図書館	夏に小中学生、高校生を対象に本や図書館や読書をテーマにした俳句・川柳を募集した「図書館de一句」を実施。秋には集まった俳句を展示し、中央図書館賞・YAサービス賞を決定した(2023/2024)。ビブリオバトルを実施予定(2025.1.18予定)。
42	サービ ス訪 問	子育てグループや保育園・幼稚園、小・中・高等学校、市内各施設へのおはなし会・ブックトーク・図書館活用講座などの訪問サービスのPRと充実	中央図書館・市民健康課・保育課・青少年課・こども相談課・小学校・中学校・高等学校	子育て支援センター、中央公園、浄明寺子ども会へおはなし会、小学校へは保護者向けに読み聞かせ講座や本の修理講座などの訪問サービスを実施した。

43	人材育成	乳幼児・児童・ヤングアダルトサービスにおける図書館司書の専門性の向上	中央図書館	日本図書館協会が実施している児童図書館員養成専門講座を2023年は1名受講した。受講内容について、職場研修で報告・共有した。神奈川県主催の生涯学習指導者研修「読書活動実践コース」を受講(2023 1名、2024 2名)。
44		司書教諭をはじめとする教職員・学校司書を対象とした「図書館講座」などの研修・支援の充実	中央図書館・小学校・中学校・教育指導課	「鎌倉市教職員対象図書館実務研修」を毎年実施。2023年度は情報リテラシー講座等を行った。2024年度は、「紙資料とデジタル資料によるハイブリッドな情報活用について」「デジタルシチズンシップについて」講座を行った。
45		読書活動を推進する「おはなしボランティア」の養成講座やステップアップのための講座を開催	中央図書館	継続実施。おはなしボランティア養成講座はコロナ禍は定員を半減していたが、通常の20人の定員に戻した(2023.10~11 全4回)。おはなしボランティアステップアップ講座は、季節別読み聞かせにオススメの本や紙芝居のブックトークを図書館職員が講師となって行った。(2024.2 50人)ステップアップ講座は、2024年度は5年に一度の連続講座の年にあたっているため、10月11日~11月1日に4回実施し、一般参加可の講演として長野麻子氏「こどもとことば」を開催した。
46	連携	「かまくら読書活動推進センター」の機能及び支援情報のPRの充実	中央図書館	かまくら読書活動推進センターの看板を各図書館で掲示している。
47		「鎌倉市子ども読書活動推進計画に関する連絡会議」の充実	中央図書館・教育指導課・こども支援課・青少年課・保育課・発達支援室・小学校・中学校・高等学校・幼稚園・保育園	2023年度から計画策定の時期だけでなく、市民委員を募集し、連絡会議を構成した。任期を3年とすることで、より効果的で活発な意見交換の場になるようにした。
48		幼稚園・保育園・学校等への読み物を中心とした本をセットにした「子ども読書パック」、活用頻度の高いテーマの関連した本を集めた「学習パック」などのPRと資料の充実	中央図書館、幼稚園、保育園、小学校、中学校	子ども読書パック、学習パックともにすでに需要は高いが、機会を捉えてPRしている。毎年少しずつだがパックを増やしたり、更新したりしている。
49		「本の海サポーターズ交流会」の開催など、ボランティア同士の情報交換の場の設定	中央図書館、ボランティア	継続実施。2023年度は紙芝居文化推進協議会の絵本作家・長野ヒデ子氏他を講師に迎え、紙芝居について講義と実演をもらった(2023.6.16 62人)。2024年度は事例発表と、おすすめの絵本についてグループワークを行った(2024.6.28 35人)。

50	地域性を活かして	子ども向け地域資料の充実(近代史資料室の子ども向けサービスを考案するなど)	中央図書館	「古都鎌倉へのまなざし」の電子書籍化にあたって、学校の授業で使えるよう案を作成予定(2024年度内)。
51	地域性を活かして	地域性を生かした本の紹介リストの作成	中央図書館	「かまくらのことをしらべたい」の改訂版を作成予定(2024年度内)。
52		ファンタスティック☆ライブラリー(図書館まつり)の開催	中央図書館、関連団体、ボランティア	継続開催。2023年度は2月に実施した。(2024.2.4~5開催)鎌倉女子大学の学生におはなし会をしてもらったり(社会教育ゼミ生によるおはなし会、手話部による手話付きおはなし会)、関連団体がおはなし会や「絵本でかるた」なども行った。2024年度は12月に実施予定。鎌倉女子大学の学生(社会教育ゼミ生、手話部、かるた部)の催し、NPO法人まるまーの世界のおはなし会などを実施予定。
53		鎌倉らしいイベントの企画や地元書店・地元出版社との連携の充実	中央図書館	鎌倉中央公園の依頼をうけて、野外おはなし会を年に2回開催している。緑に囲まれた中で、落ち葉やはっぱを使いながらネイチャーゲームやおはなし会を行っている。(2023・2024)小学生向けのおはなし会も実施予定(2024.12予定)
54	環境整備の大切さを伝えるために	図書館にちなんだ日「子ども読書の日(4月23日)」「こどもの読書週間(4月23日~5月12日)」「図書館月間(5月1日~5月31日)」「市図書館創立記念日(7月20日)」「文字・活字文化の日(10月27日)」など記念イベントの開催	中央図書館	おはなし会や展示をしたり、各図書館で取り組んでいる。
55		【新規】「鎌倉市子ども読書活動推進計画」の取組を広くPRする	中央図書館	「第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画」を子どもに関わる施設などに送付したり、図書館ホームページに掲載し、取組をPRした。
56	環境整備の大切さを広く伝えるために	市広報・ホームページ・地元メディア・ちらしなどの活用による読書関連情報やイベントのPR	中央図書館	図書館ホームページで、読書関連情報やイベントをPRしている。
57		子どもと保護者・教職員に向けた本や図書館のPRの充実(図書館だよりの発行など)	中央図書館	毎年、おすすめの本の紹介リストを発行している。図書館だよりは年に数回発行している。
58		本の紹介リストの配布、インターネットで配信	中央図書館	ホームページ(こどもページ・ティーンズのページ)に本の紹介コーナーがあり、隔月で更新している。また、本の紹介リストをホームページに掲載している。

59	読書バリアフリーについて	★【新規】読書バリアフリーについて、広く知ってもらう取組	中央図書館	福祉週間や障害者週間などにバリアフリー関連図書の展示を行った(2023・2024)。鎌倉支援学校・鎌倉子ども学園「チュールリップ」の児童・生徒による作品展示を行う予定(2024.12予定)。
60		★【新規】特別なニーズのある子どもに関わる施設への聞き取りとニーズに合わせたサービスの検討	中央図書館	アンケート調査で回答のあった施設の中から3施設について、訪問したり来館してもらって、懇談し、ニーズの把握に努め、訪問サービスや展示、図書館利用へとつなげた(2023/2024)。
61		★マルチメディアデージーなどの録音図書やLLブックのPRと活用の充実	中央図書館	福祉週間や障害者週間などにバリアフリー関連図書の展示をおこない、PRした。読書バリアフリーパックを作成してまずは学校へ貸出することを検討中。
62		★録音図書等を特別支援学級や障害児活動支援センターへ貸出するサービスの実施	中央図書館・特別支援学級・発達支援室	鎌倉支援学校へ録音図書デージーの貸出しを行った(2024.6)。
63		★特別支援学校や障害児施設を対象とし、図書館を利用しづらい子どもたちのニーズに合わせたサービスの実施	中央図書館・特別支援学校・発達支援室	鎌倉支援学校へおはなし会に行っている(2023 1回 2024 3回予定)。2023年度から深沢図書館で児童発達支援・放課後等デイサービスの「PONOKIDS鎌倉」が来館時にニーズに合わせたおはなし会をしている。玉縄図書館でも児童発達支援・放課後等デイサービスの「鎌倉子ども学園『チュールリップ』」へ来館時におはなし会を行った(2024.10)。
64		★入院中の子どもたちを含む医療ケア児等へのサービスの研究	中央図書館・病院	「小さき花の園」へ施設訪問し、ニーズを聞き取り、訪問サービスを実施したり、おはなし会に参加する道をさぐった(2024.7訪問 おはなし会は2024.11実施予定)。
65		★【新規】海外にルーツのある子どもたちへのサービス(外国語絵本を所蔵していることのPRやブックスタートでの多言語絵本の配布、支援団体との連携など)	中央図書館	ブックスタートで多言語絵本を配付できる体制を整えた。海外にルーツのある親子を支援しているNPO法人まるまると連携し、イベントを開催(「第2回図書館をたのしもう! 2024.1.23 12人)。2024年度は、ファンタスティックライブラリーで「世界のことは、世界のおはなし」を実施予定(2024.12.2予定)。

66		★手話付きなどバリアフリーおはなし会や多言語でのおはなし会や、多文化サービスの充実	中央図書館	手話付きおはなし会等を3種類実施。①障害福祉課から手話通訳者を派遣(2023 2回/2024 4回)、②神奈川県聴覚障害者連盟から聾者と手話通訳者の派遣(2023 1回)、③鎌倉女子大学手話部との連携(2023 1回/2024 2回)。 多言語でのおはなし会は、ファンタスティック☆ライブラリーで「世界のことば、世界のおはなしwithまるまる」を実施予定(2024.12予定)。
67	紙とデジタルの情報活用のハイブリットな	★【新規】モデル校を設定し、紙資料とデジタル資料を併用した調べ学習の検討	中央図書館・教育指導課・小学校・中学校	—
68		★【新規】電子書籍の導入の検討	中央図書館	検討をすすめている。
69		★【新規】Wi-Fi環境の整備の検討	中央図書館	中央図書館に令和6年6月からWi-Fi環境が整った。各地域館にも拡大できるか検討中。
70		★【新規】教員や図書館司書を対象とした情報リテラシー研修の実施	中央図書館・教育指導課	鎌倉市教職員対象図書館実務研修の中で外部講師を招いて情報リテラシー研修を実施した(2023.7 32人)。2024年度も外部講師を招き「紙資料とデジタル資料によるハイブリッドな情報活用について」「デジタルシチズンシップについて」講座を行った(2024.8 19人)。
71		★【新規】子どもたち自身が様々な媒体を使って、自律的な学習ができるようサポート	中央図書館・教育指導課	—

第4次 鎌倉市子ども読書活動推進計画取組事業進捗状況

★重点事業

2 読書に関する情報を中高生が自ら発信できる場づくりを充実

41 ヤングアダルト対象の行事の開催

令和7年（2025年）1月18日（土）ビブリオバトルを実施予定。

バトラー（発表者）は市内に在住・在学の中学生以上20歳以下が対象。

栄光学園・清泉女学院と連携し、玉縄学習センター3階で実施予定。

63 特別支援学校や障害児施設を対象とし、図書館を利用しづらい子どもたちのニーズに合わせたサービスの実施

鎌倉支援学校への訪問サービスでおはなし会を実施。令和5年度（2023年度）は1回、令和6年度（2024年度）は3回実施予定。

団体で図書館へ来館し、ニーズにあわせたおはなし会などを実施。

令和5年度（2023年度）から深沢図書館で児童発達支援・放課後等デイサービスの「PONOKIDS鎌倉」が来館時におはなし会を実施。玉縄図書館でも児童発達支援・放課後等デイサービスの「鎌倉こども学園『チューリップ』」が来館時におはなし会を実施した（2024.10）。

64 入院中の子どもたちを含む医療ケア児等へのサービスの研究

「小さき花の園」へ施設訪問し、ニーズの聞き取り、訪問サービスを実施。図書館のおはなし会に参加する道をさぐった（訪問サービスによるおはなし会は2024.11実施予定）。

【新規】

60 特別なニーズのある子どもに関わる施設への聞き取りとニーズに合わせたサービスの検討

アンケート調査で回答のあった施設の中から、来館や施設訪問によって、施設職員と懇談し、ニーズの把握に努め、訪問サービスや図書館利用へとつなげた。

訪問施設 2023：鎌倉あけぼの園、あおぞら園、PONOKIDS鎌倉

2024：小さき花の園、鎌倉こども学園「チューリップ」、

（障害児活動支援センターへ訪問予定）

※鎌倉支援学校、鎌倉こども学園「チューリップ」は図書館で児童の作品の展示を行う予定。

※鎌倉支援学校へは訪問サービスでおはなし会を実施。PONOKIDS鎌倉、鎌倉こども学園「チューリップ」は図書館へ来館時におはなし会を実施。

【継続】

66 手話付きなどバリアフリーおはなし会や多言語でのおはなし会や、多文化サービスの充実

手話通訳者をつけて、手話付きおはなし会を地域館で実施。（腰越は2024.12実施予定）

ファンタスティック☆ライブラリーで、鎌倉女子大学の学生（社会教育ゼミ生、手話部、かるた部）の催し、NPO法人まるまーるの世界のおはなし会などを実施予定。（2024.12）

鎌倉市深沢図書館 FAX 0467-43-5676 へ

【学校】鎌倉市内の子ども関連施設における読書環境アンケート(1枚目)

かまくら読書活動支援センター

第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画を推進していくにあたり、子ども関連施設の読書環境を定点観測し、子どもの読書環境の変化を調査するため、アンケートを実施します。このアンケートは鎌倉市内の小中学校、高校へ依頼しています。ご協力よろしくお願いいたします。

記入または該当箇所に○をつけてください。

令和6年(2024年)5月31日(金) 〆切

1 学校について教えてください。 基準日:令和6年(2024年)4月1日

(1)学校名 _____

(2)人数 在校生の人数を教えてください。 _____ 人

2 学校図書館の蔵書や取組について教えてください。

(1)おおよその所蔵点数と資料費を教えてください(市立小中学校は市で把握しているので、記入しなくてかまいません)。

_____ 点 年間予算 _____ 円

(2)貸出についてお聞きます(わかる範囲でご回答をお願いします)。

一回に貸出できる点数 _____ 点 貸出期間 _____ 日 2024年4月 1カ月の貸出点数 _____ 点

(3)不足していると思われる資料はありますか？(複数回答可)

- 1 絵本 2 図書(物語などよみもの) 3 図書(調べ物の本)
4 紙芝居 5 その他() 6 とくに不足しているとは思わない

(4) (3)で3に○をした方にお伺いします。どの分野の資料が足りないですか？(複数回答可)

- 1 百科事典 2 コンピューター 3 歴史 4 伝記 5 地理・地図 6 社会科学
7 算数・物理 8 天文 9 植物・動物 10 人体 11 環境 12 手芸・料理
13 産業 14 美術 15 工作 16 音楽 17 スポーツ 18 国語
19 外国語 20 その他()

※「環境問題」「仕事」など調べ物の本をセットにした「学習パック」をご希望の学校に貸出しています。

実際に授業で使用してみて、購入の参考にしてください。

図書館ホームページ(こどもページ>大人の方へ>学校の先生・学校図書館の方へ>学校貸出のご案内)をご参照ください。

(5)読書バリアフリーに関して、教えてください(おおよその数でかまいません)。

ア 外国語の絵本や図書はありますか？

1 ない 2 ある →言語 _____ → 所蔵点数 _____ 点

イ さわることで内容が伝わる、布絵本や点字絵本・点字図書はありますか？

1 ない 2 ある → 所蔵点数 _____ 布絵本 _____ 点 点字 _____ 点

ウ LLブックはありますか？

※「LLブック」とは、スウェーデン語で「やさしく読みやすい本」という意味。ピクトグラム(絵)を使ったり、短い言葉で書かれたりしている本。

1 ない 2 ある → 所蔵点数 _____ 点

エ 大活字本はありますか? 1 ない 2 ある → 所蔵点数 _____ 点

オ 耳で聞くことのできるCDブックや、録音図書デージーはありますか?

※ デージー… CDの形をした録音図書です。1枚のデージーに長時間録音されているので、カセットテープのように裏返したり入れ替えたりする手間がありません。デージーを聞くには専用の再生機が必要です。

1 ない 2 ある → 所蔵点数 CDブック _____ 点 デージー _____ 点

カ 障害のある子や海外にルーツのある子への読書をサポートしていたら、どんなサポートをしているか教えてください。

※深沢図書館には児童書のリサイクル本・寄贈本のストックがあり、譲渡会を予定しています。深沢図書館での受け渡しとなりますが、希望しますか? ご希望の学校へご案内を差し上げます。

1 希望する 2 希望しない

(ご意見: _____)

3 本の読み聞かせまたは朝読などで一人で読書する時間がありますか?(複数回答可)

1 授業のなかで、読み聞かせを行うことがある。 2 授業のなかで、読書の時間がある。

3 朝読や休み時間に教職員が読み聞かせを行うことがある。

4 朝読や休み時間にてボランティアが読み聞かせを行うことがある。

5 朝読で一人で読書する時間がある。 6 その他(_____)

4 学校図書館の開館状況について、教えてください。

(1)1週間におおよそ何時間くらい開館していますか? またそのうち貸出ができる時間はおおよそ何時間ですか?

(開館) _____ 時間 (貸出) _____ 時間

(2)放課後、学校図書館は開館していますか?

1 開館していない 2 開館している →週 _____ 日

(3)学校図書館を開館するために、工夫していることがあれば、教えてください(保護者ボランティアをお願いしているなど)。

5 読書について、独自に取り組んでいること、困っていることや図書館と連携したいことがあったら、教えてください(例えば、ビブリアバトルを行っている、電子書籍を導入しているなど)。

記入された方のお名前をご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

【学校】鎌倉市内の子ども関連施設における読書環境アンケート集計結果2024

第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画を推進していくにあたり、子ども関連施設の読書環境を把握するため、令和6年(2024年)5月にアンケートを実施しました。

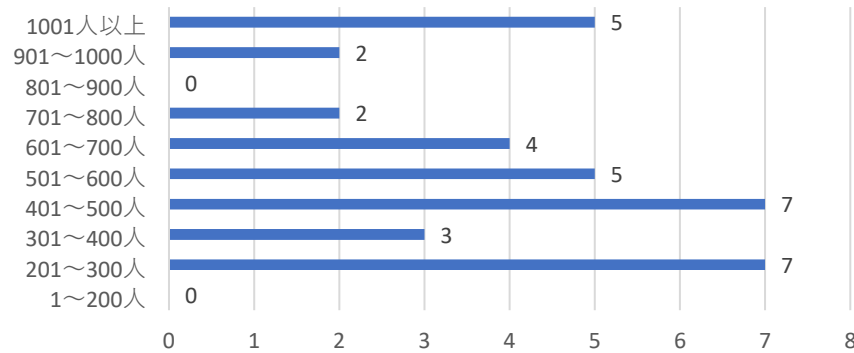
鎌倉市内の小中学校、高校の39校に依頼し35校から回答を得ました。(FAX24件、e-kanagawaでの回答11件) 回答率は89.7%、回答者のうちe-kanagawaでの回答率は31.4%でした。ご協力ありがとうございました。

子どもの読書環境について定点観測し、今後の読書環境整備に役立てます。

2023年度の集計結果はこちら



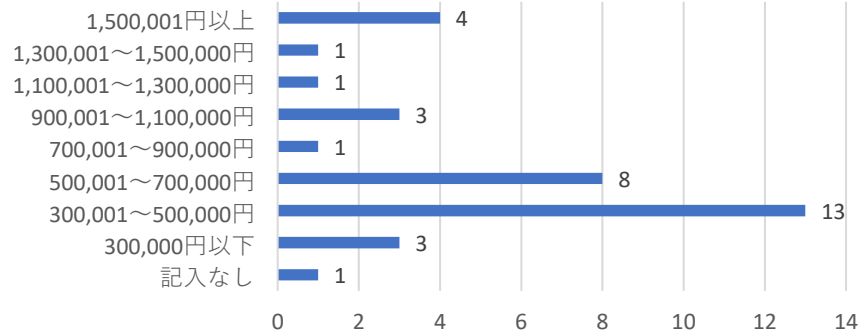
在校生の人数



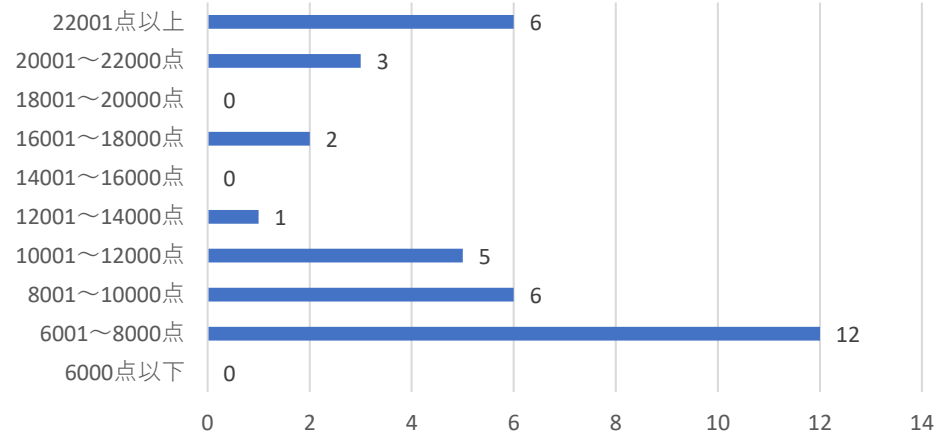
公立小学校16校、公立中学校9校、県立高校4校、私立小学校1校、私立中学・高校5校からの回答です。

※単位について記載のない数値は学校数を表しています。

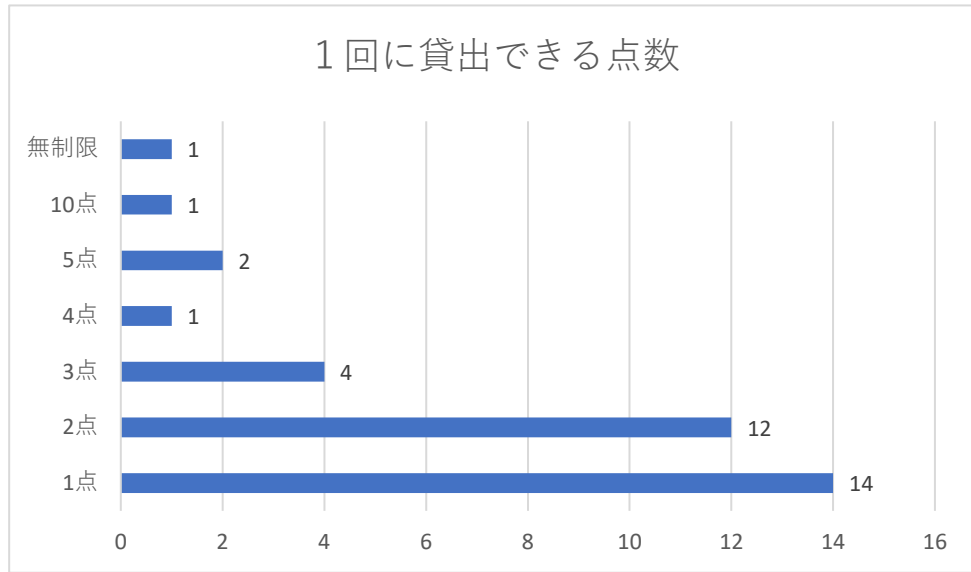
資料費



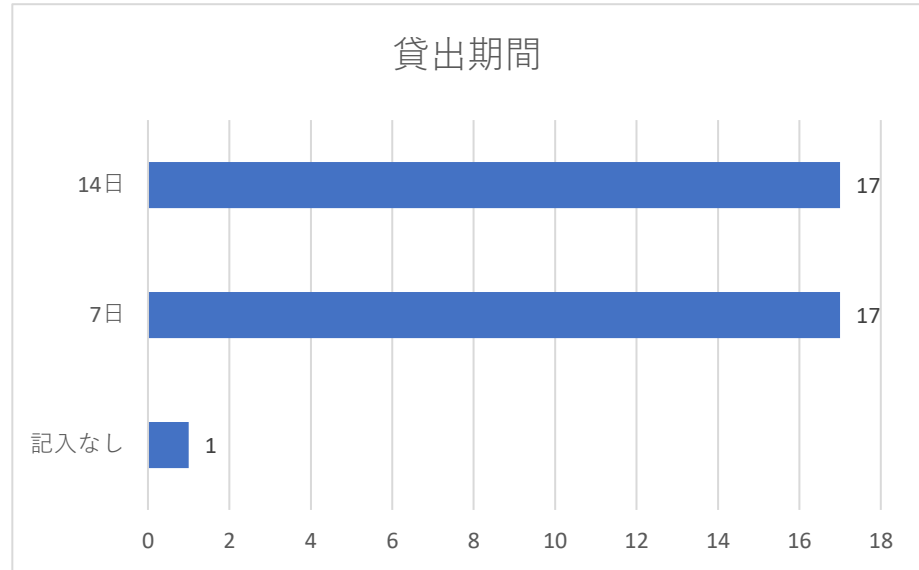
所蔵点数



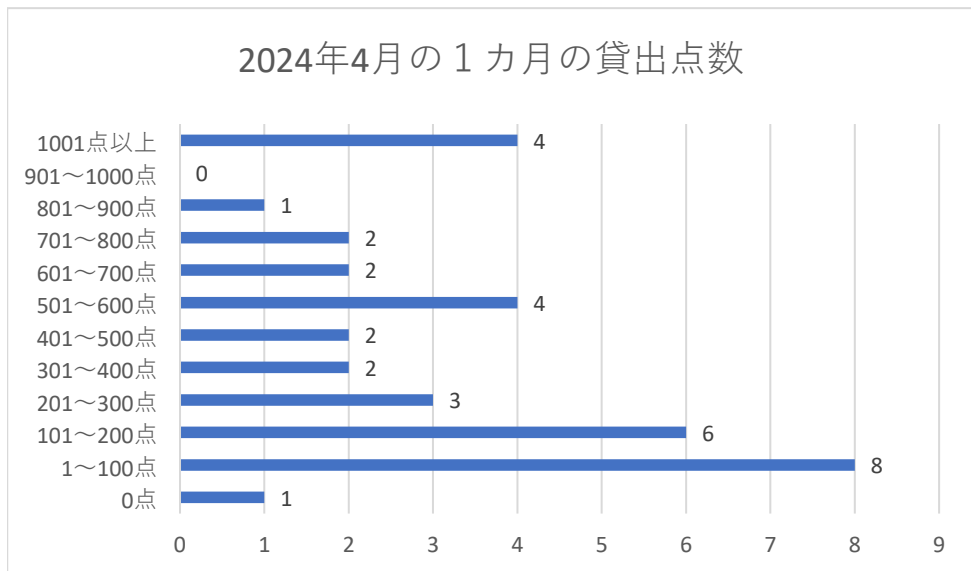
1回に貸出できる点数



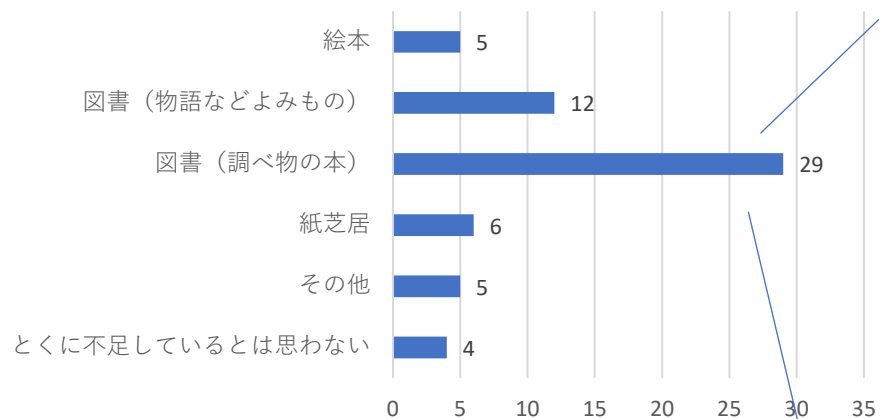
貸出期間



2024年4月の1カ月の貸出点数

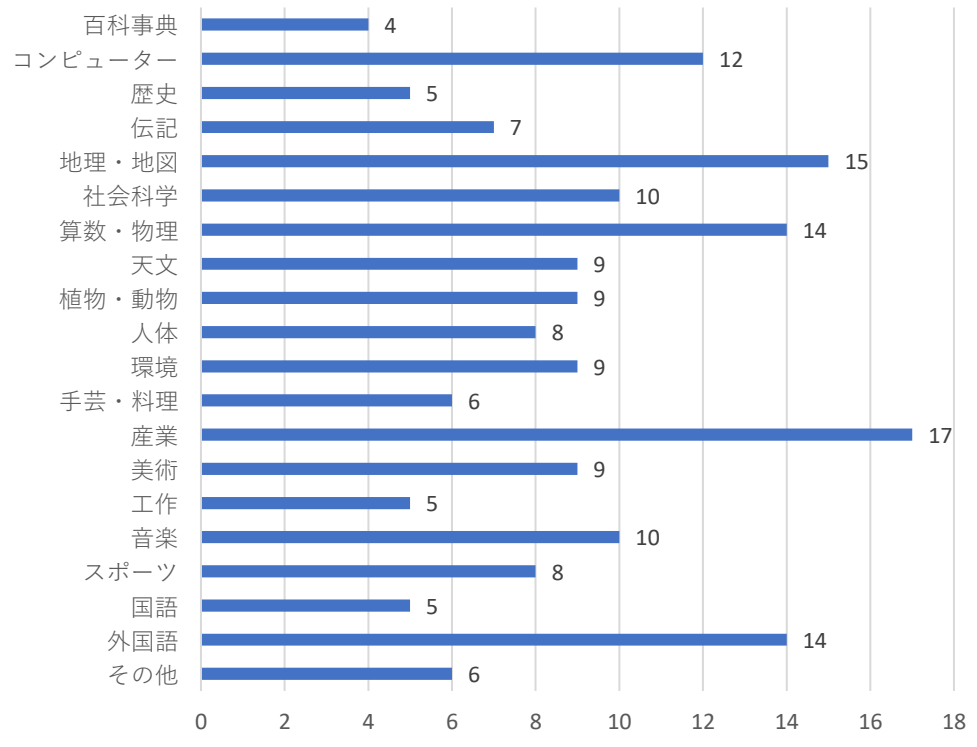


不足している資料

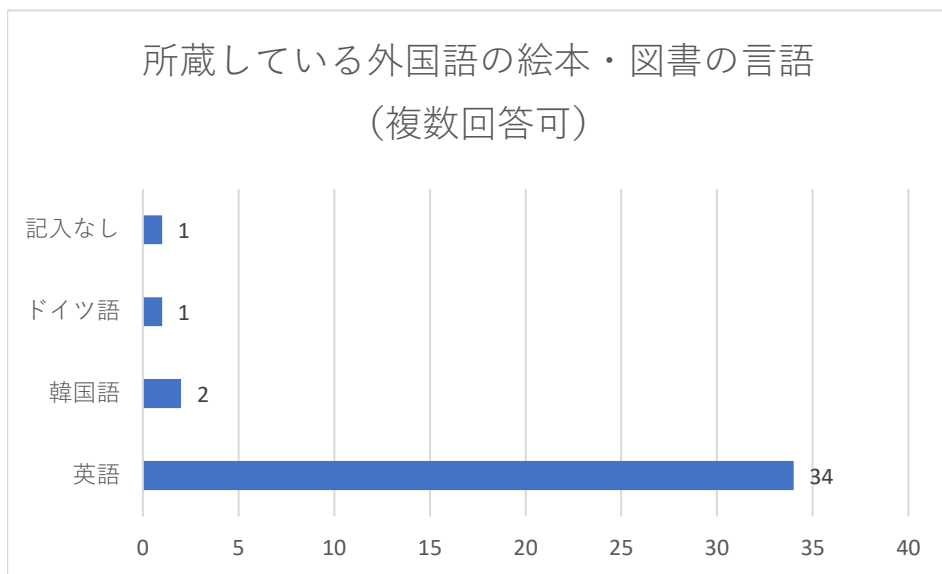
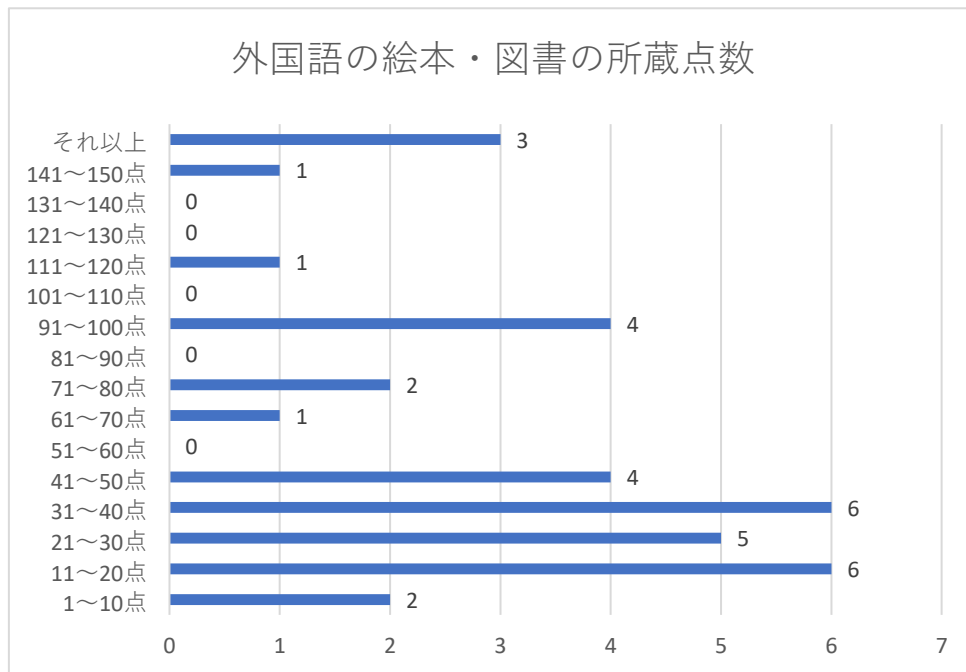
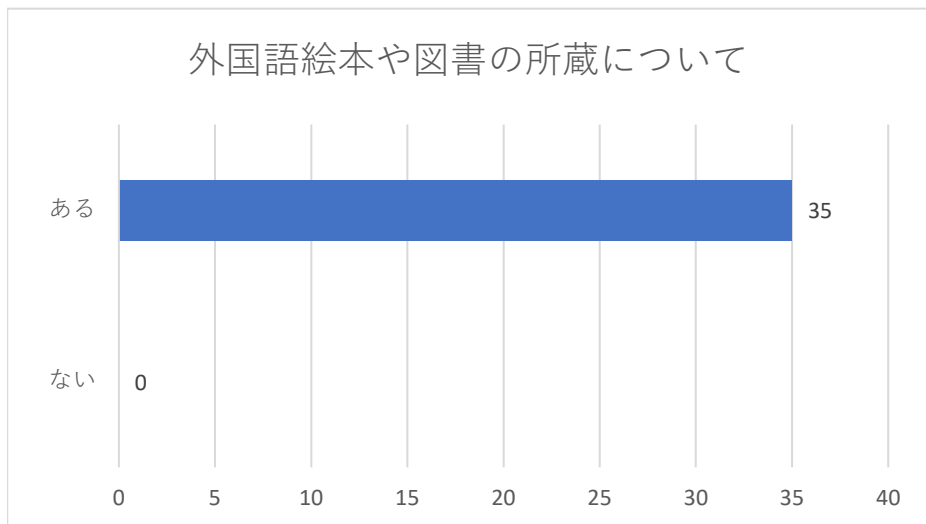


(内訳)

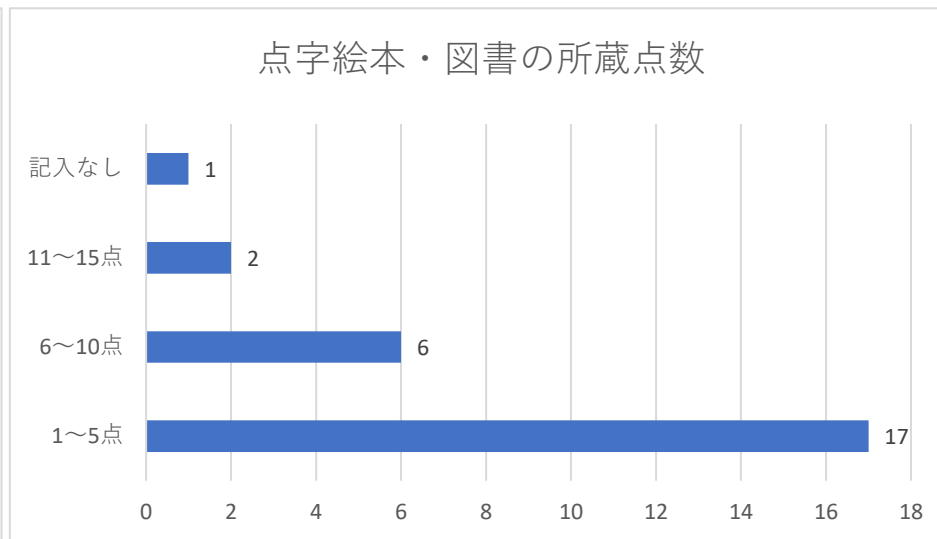
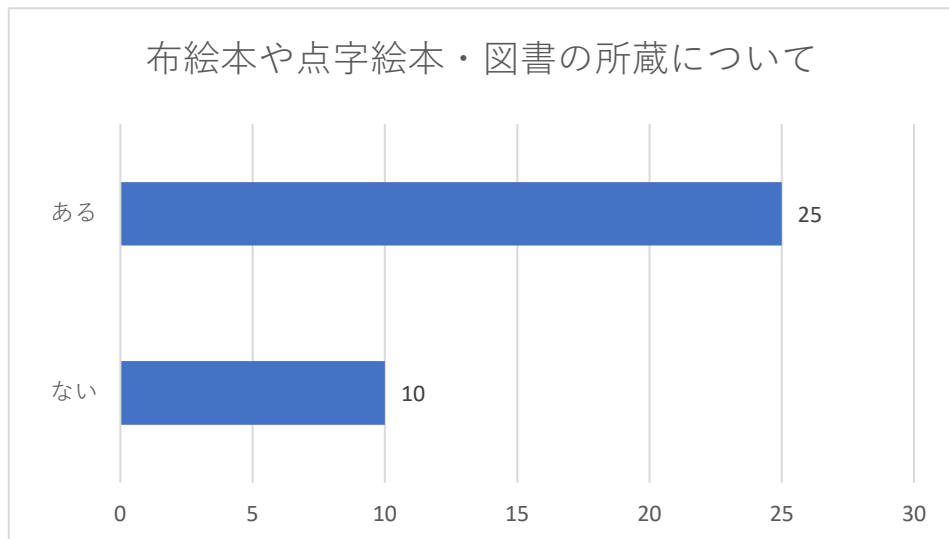
調べ物の足りない分野



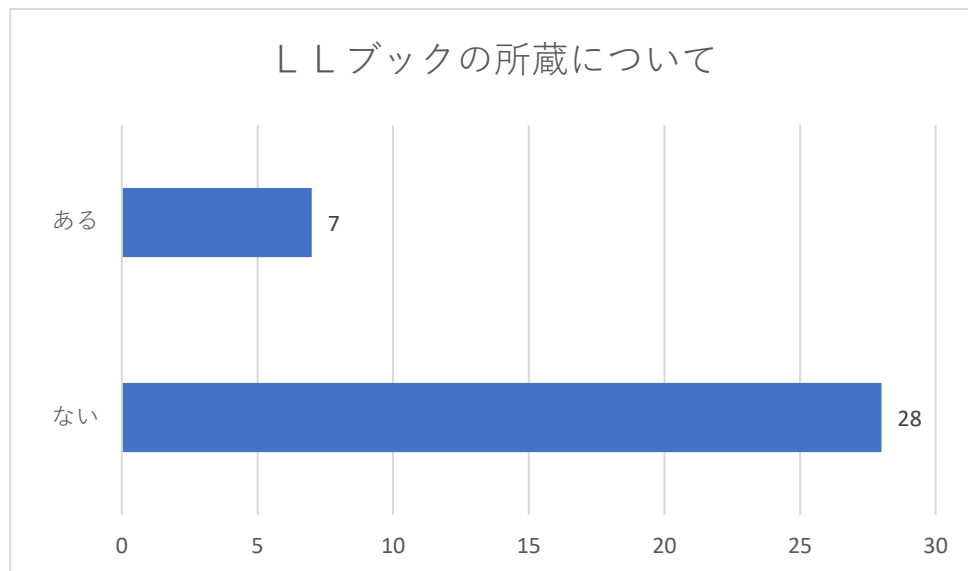
【読書バリアフリーについて】



回答のあったすべての学校で外国語の絵本・図書を所蔵しています。
所蔵点数が2000点の学校もありました。
言語はほとんどが英語のみですが、韓国語・ドイツ語の絵本・図書を所蔵している学校がありました。



※布絵本を所蔵している学校は1校で、所蔵点数は1点のみ。

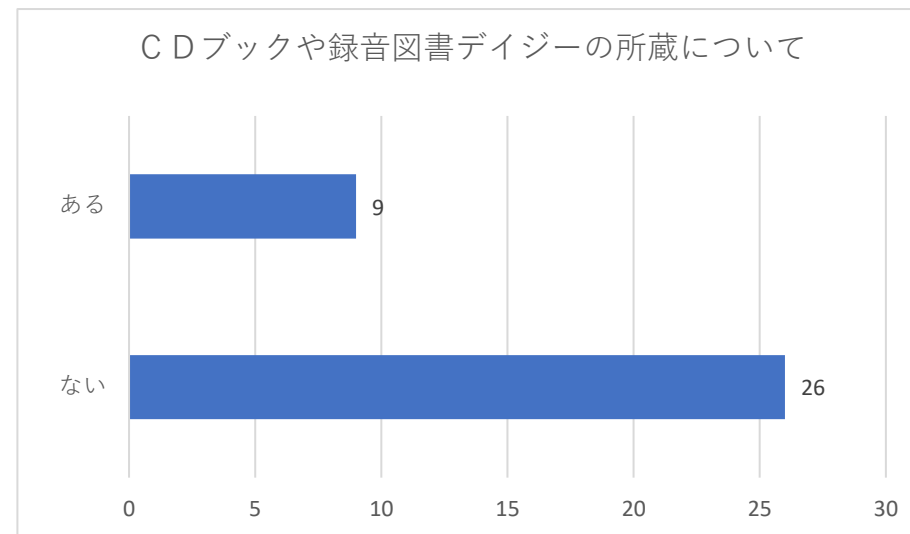
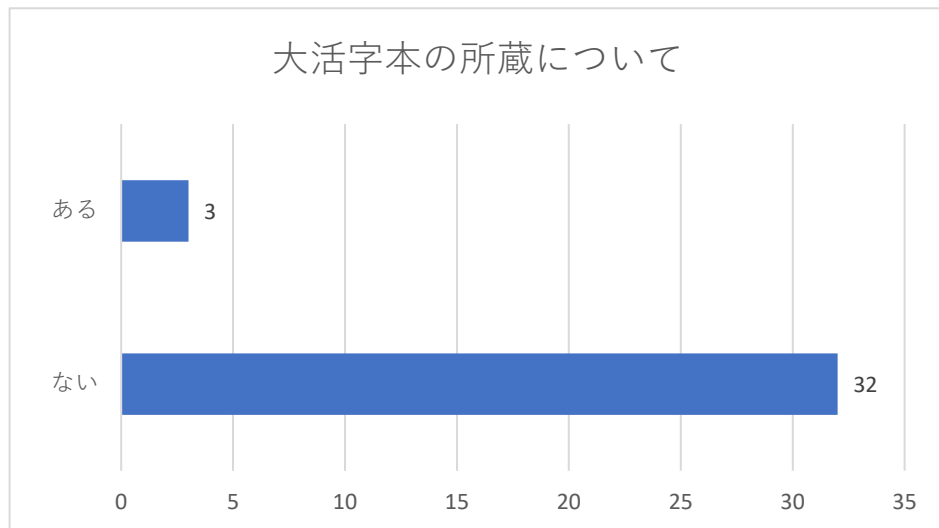


昨年度より回答学校数が増えているので、単純な比較はできませんが、昨年度LLブック所蔵校は4校だったので、増えています。

点字絵本・図書についても、所蔵校、点数ともに増えています。

※LLブックを「ある」と回答した学校の所蔵点数は1点(3校)、2点(1校)、4点(1校)、5点(2校)です。

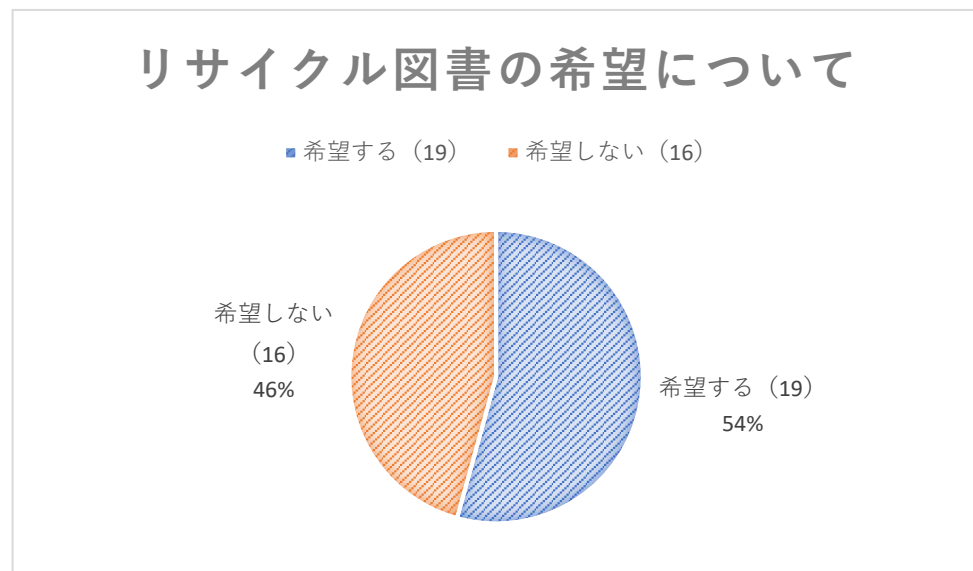
※「LLブック」とは、スウェーデン語で「やさしく読みやすい本」という意味。ピクトグラム(絵)を使ったり、短い言葉で書かれたりしている本。



※大活字本を「ある」と回答した学校の所蔵点数は2点、19点、記入なしでした。

※CDブックや録音図書デジターを「ある」と回答した学校の所蔵うち、CDブックの所蔵点数は、10点(2校)、13点、66点、200点でした。

録音図書デジターの所蔵点数は、1点(2校)、10点でした(記入なしが2校あり)。



昨年度大活字本所蔵校は1校、CDブックは2校、録音図書デジターの所蔵校はありませんでした。

単純比較はできませんが、バリアフリー図書を所蔵する学校が増えているようです。

※昨年度のリサイクル図書の譲渡会が好評でしたので、今年度も、深沢図書館で実施予定です。
ご希望の学校へお知らせいたします。

障害のある子や海外にルーツのある子へ、どんな読書をサポートをしているか。

(障害のある子へのサポート)

- ・デージーゆめ文庫を利用している。-2
- ・リーディングトラッカーの貸出-2
- ・図書的时间サポート
- ・朝読用よみものセットや、まわしよみ新聞のための小学校版の調達(中学校にて、支援級のために小学生新聞を調達)。
- ・絵本や写真入り、図鑑を入れている。
- ・特別支援級の児童が興味を持ちそうなわかりやすい乗り物の本を購入している。
- ・支援級では、週に1時間図書の時間があり、大型絵本や紙芝居、しかけ絵本などを、内容をやりとりしながら、読み聞かせしている。絵がわかりやすく、簡潔な文章の本を図書館からお借りできて助かっている。
- ・車いすの生徒がどの書架も見られるよう、通路を広くしている。
- ・障がいのある児童に読み聞かせ、紙芝居の貸出(公共図書館も利用)。

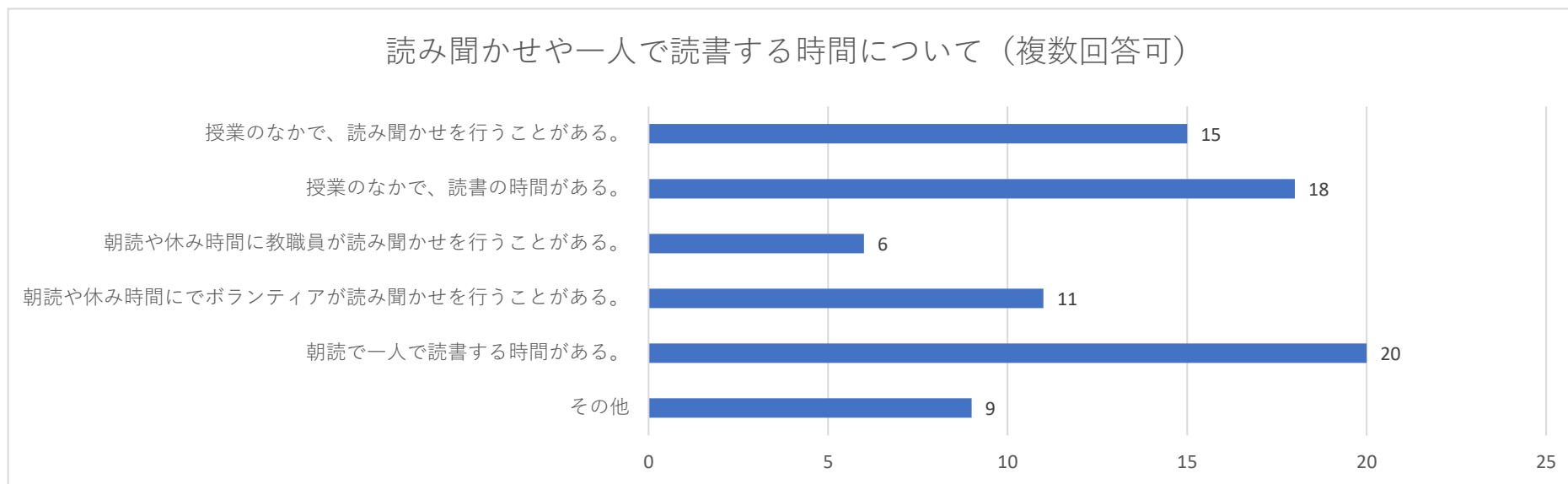
(海外にルーツのある子へのサポート)

- ・海外にルーツのある児童へ読み聞かせ、英語で書かれた本の紹介。
- ・継続的なサポートではないが、英訳のついた本や絵、写真で楽しめる本のおすすめ。
- ・日本語多読の本とレインボー英和英辞典を貸出。
- ・母語の蔵書(英語圏)。

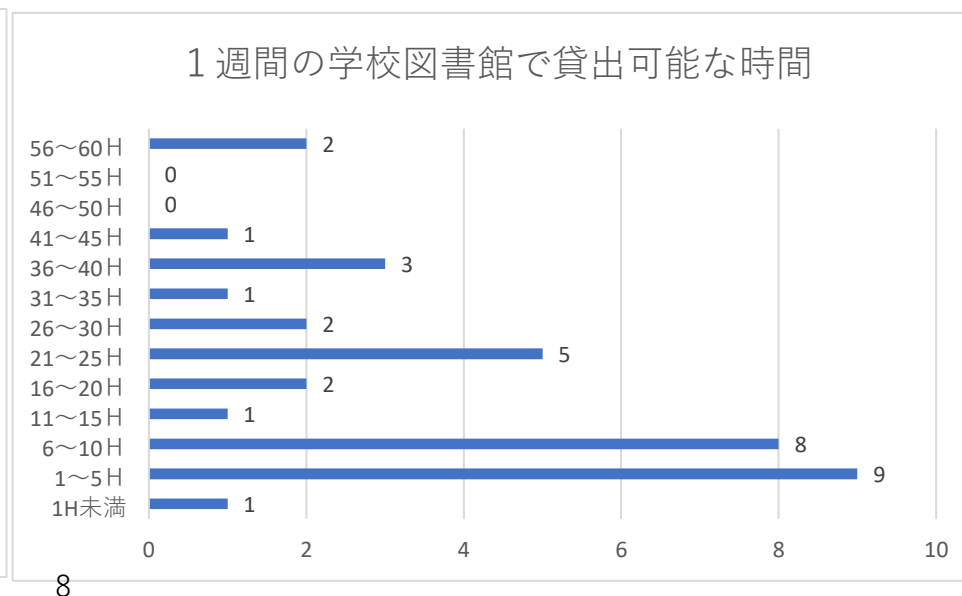
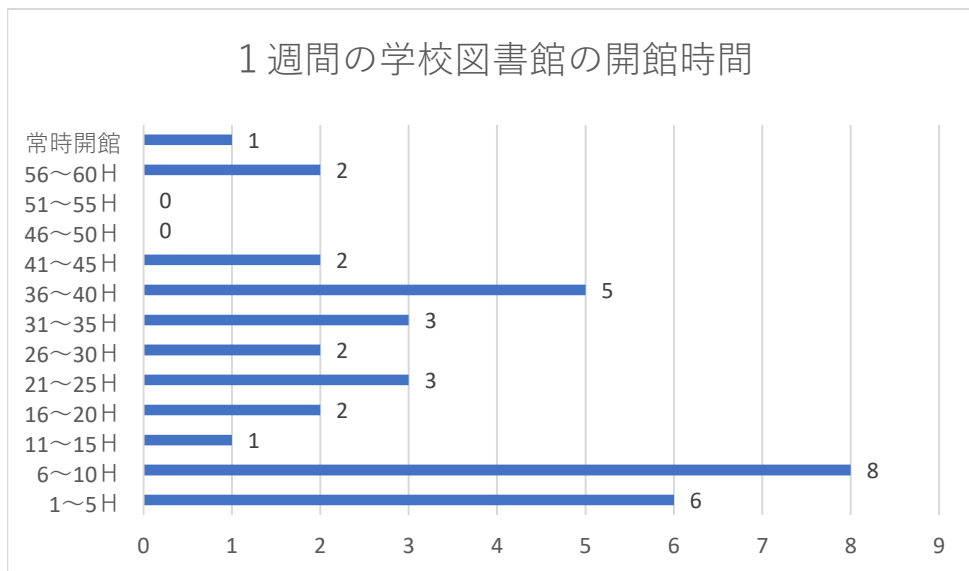
※該当の児童・生徒がいないため、特に何もしていないという学校も多くありました。

前の設問とも関連しますが、デージーを導入している学校が増え、特別支援学級の児童・生徒へのサポートが充実しているようです。

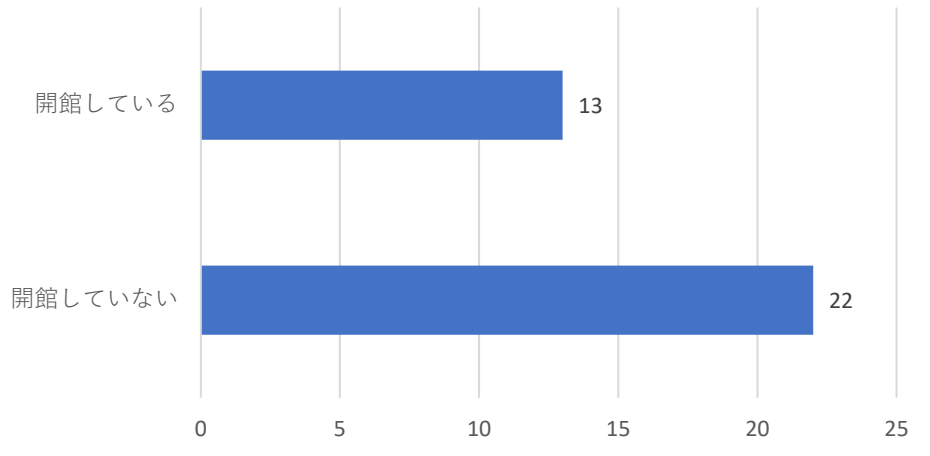
【本の読み聞かせ・一人で読書する時間について】



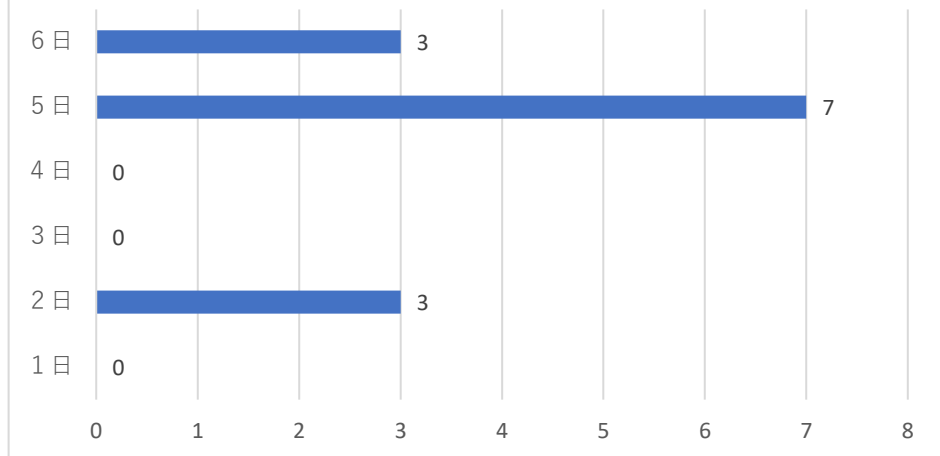
【学校図書館の開館状況について】



放課後の学校図書館の開館について



1週間のうち放課後開館している日数



開館していると回答した13校のうち10校は週5日以上開館しています。

【学校】学校図書館を開館するために、工夫していることについて
・学校司書の勤務日のみ放課後開放している。
・勤務がない日は図書委員が開館している。
・司書が学校にいる日を増やすために、月12日の勤務の他に、スクールサポートスタッフとして、週一日勤務している(現状、司書のいる日のみ貸出。水曜は貸出なし)。
・司書教諭の常駐-2
・専任司書がいる。
・学校図書館専門員不在日は図書委員で貸出。
・図書委員がカウンター当番に来る-2
・図書委員がパソコンの立ち上げから貸出・返却まで実施している。-2
・図書委員の活動、専門員がいない授業の時にも担任等が貸出できるよう手続きについて共通理解している。
・図書館が3階にある。窓が大きく開かないようにした。
・図書館専門員が出勤していない日の休み時間の貸出等を図書委員会の先生、スクールアシスタントの先生が手伝ってくれる。
・貸出パソコンの操作方法を提示して、必要な時はどの職員でも操作できるようにしている。学校図書館の割当て日程表を職員室に掲示し、使用状況が分かるようにしている。
・担当司書が不在の時の教員へのお願い、図書室を施錠しない。
・昼休みの開室時間にロスがないよう、SSS(スクール・サポート・スタッフ)の方にあらかじめ開錠とパソコン起ち上げをお願いしている。
・朝休みに開館するため、当番ではない図書委員に協力をお願いしている(人数的に中休みと昼休みの当番しか決められない)。
当番が来ない時は専門員がカウンターにいるようにする。
・読書活動推進員の勤務の日は放課後も開館している。1年生のオリエンテーションでそのことをお知らせしている。
・扉をつけない(5月現在扉あるが施錠はしない)。
・保護者(地域)ボランティアさんと協力。
・廊下に開館日、貸出開始、長期休館などのお知らせを貼り出している。
・毎年度新しく購入した本を先生方と児童に手に取って見てもらえるよう、「新着図書展示会」をおこない、学校図書館内で見てもらう機会を作っている。

【学校】独自の取組について
<p>《行事・イベントについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『図書館だより』をclassroomで生徒に配信 ・スマートフォン・タブレットでの蔵書検索
<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトルを行っている。 ・毎年度はじめに1年生生徒に対し、図書館の使い方についてのオリエンテーリングを行っている。 ・「クラス文庫」を設け、毎日の朝読書の時間に活用している。 ・「図書委員会」による様々な活動により読書活動を推進している。
<ul style="list-style-type: none"> ・近代文学館のパネル展示を毎年行っている(文豪)。 ・委員会費で新聞を購入してもらい、まわしよみ新聞を委員の子に作成してもらっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・新しく購入した本を図書委員におすすめの本として紹介カードを書いてもらったりして、本の情報を発信する機会を増やしている。 ・昨年度は訪問サービスでご指導いただき、大変参考になった。限られた予算の中で、どのように選書し、蔵書構成を見直していくか、いつも悩んでいるので、これからもご指導よろしくお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・1年から6年まで「読書の時間」がある(1～2年は音読と写し書き、3～6年は図書室で自由読書)。
<ul style="list-style-type: none"> ・どのような内容が「独自」といえるのかわからない。探調コミュに令和5年度業務報告書が入っているので、ご覧いただければ。 →読書マラソン、おみくじ、教えて好きな本などを実施。
<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル、ポップの展示等、さまざまなイベントを図書委員の主催で行い、「もう一冊貸出券」を渡している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトルを行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・校内に支援級が設置されたり、外国つながりの子ども(日本語が困難)が常に数名在籍していることなどから、図書館内に「りんごの棚」を設置。現在出版されているLLブックは絵本もあるが、内容的に小学生向きではないものも多く、もう少し多年齢に亘るラインナップがあるといいなと感じている。
<ul style="list-style-type: none"> ・分類を学ぶために図書館分類の歌を紹介している。イベントで図書室や読書に興味を持ってもらうように、スタンプラリーを行った。
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館へ来ない生徒にも図書館の蔵書を手に取ってもらうため、図書館以外(ラーニングスペース、高校3年教室内、中学1年廊下など)にも展示をしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館主催の校内ビブリオバトルを実施している。又図書委員会が読書推進の為の企画(図書館便りの発行、本の福袋、俳句で本紹介)を立案、実施している。年度初めには、新入生及び新任教職員向けのオリエンテーションを行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館イベントを年数回行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館を導入している。
<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館導入、図書委員のお勧め本紹介等

<p>・年間通して学校図書館で本との出会いがたくさんできるように、4月オリエンテーション・7月平和授業での読み聞かせ・9月校内平和展時に関連図書展示・11月読書週間イベントクラスで参加、給食通信とコラボして献立と本紹介、夏休みと冬休み貸出も全クラス全体で貸出を行っている。</p>
<p>・読書に苦手意識のある生徒に、読書のコツや本への興味を促せるような指導ができるよう、読書活動推進員の研修をして頂けるとありがたい。</p>
<p>・読書ノートの使用(低学年と希望者)、本のリレー(おすすめの本紹介)、新聞バックナンバー切り抜き(パスファインダー準備中)。</p>
<p>・年2回の読書週間の実施。校内・校外のビブリオバトル。中学1年～高校2年までおすすめブックリストの発行。</p>
<p>・毎年児童が秋に読書イベントを計画している。新聞記事に合わせた本の紹介、保護者ボランティアへの本の紹介(話)。分類の説明で使ったカードを常時館内に置き、児童が身近にハンズオンで学べるようにしている。</p>
<p>・様々な分類の本に関心をもってもらうため、読書ビンゴを実施予定(6月)。ビブリオバトルを実施予定。</p>
<p>≪図書館との連携について≫</p>
<p>・著作権やメディアリテラシーの講座を高学年の子にむけて、やっていただけると有難い。難民センターがあり、通っている児童がいる。蔵書や接し方のアドバイスをいただけると有難い。</p>
<p>・選書について市図書館や各校と連携し、情報を得られるとありがたい。</p>
<p>・選書や廃棄本の情報交換・アドバイスを受けたい。</p>
<p>・学習パック・よみものパックでは大変利用させていただき、有難い。朝読用に新たに作っていただいたものも有難い。パックの内容の更新等と今後も活用させてもらえるよう、希望する。</p>

<p>【学校】困っていることについて</p>
<p>・利用の伸び悩み</p>
<p>・予算をすこし増やしていただければと切に思う。ハード面では(蔵書数をふやしたいが)書架が足りない(低学年の子はひくことができない子がいる)。椅子が重いので変えたほうがよいか考えている。電子黒板があればよいなと思う。</p>
<p>・本棚の側板が固定されているうえ、高さが足りず、多くの本が分類通りに並んでいないこと。一番下の段もいっぱい、本が増やせない。</p>
<p>・生徒はタブレットを使用しているので、図書館の情報もそれを利用したいが(Googleなど)、勤務日数も限られているので、マニュアル化してどの学校もできるよう指導してほしい。</p>

鎌倉市深沢図書館 FAX 0467-43-5676 へ

鎌倉市内の子ども関連施設における読書環境アンケート(1枚目)

かまくら読書活動支援センター

第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画を推進していくにあたり、子ども関連施設の読書環境を定点観測し、子どもの読書環境の変化を調査するため、アンケートを実施します。回答を参考に、関係各所との情報共有、連絡相談体制を強めていくため、個別にご連絡させていただく場合があります。このアンケートは鎌倉市内の保育園、幼稚園、認定こども園、放課後かまくらっ子、子育て支援センター、支援学校、児童発達支援施設、放課後等デイサービス、フリースクールに依頼しています。ご協力よろしくお願いいたします。

記入または該当箇所に○をつけてください。

令和6年(2024年)5月31日(金) 〆切

1 施設について教えてください。 基準日:令和6年(2024年)4月1日

(1)施設名 _____

(2)対象者 (複数回答可)

1 乳児 2 幼児 3 小学生 4 中学生 5 高校生 6 その他()

(3)利用人数(在籍または登録しているおおよその人数をご回答ください。子育て支援センターは、平均的な1日の利用人数を回答ください)。

_____人

2 子どもたちのために所蔵している資料(絵本・図書・紙芝居等)について教えてください。

(1)おおよその所蔵点数を教えてください。

1 所蔵なし 2 所蔵あり 約 _____ 点

(2)子どもたちのための資料(絵本・図書・紙芝居等)の購入予算はありますか

1 ない 2 ある → 年間予算 _____ 円

(3)子どもたちへ貸出を行っていますか?

1 行っていない 2 行っている → 貸出できる点数 ^{1人につき} _____ 点 貸出期間 _____ 日

(4)不足していると思われる資料はありますか? (複数回答可)

1 絵本 2 図書(物語などよみもの) 3 図書(図鑑などの知識の本)
4 紙芝居 5 その他() 6 とくに不足しているとは思わない。

※「子ども読書セット」として、子どもたちが読む絵本や児童書を約40冊セットにして、4週間貸出することもできます。この場合はお近くの図書館に取りに来ていただきます。

図書館ホームページ(こどもページ>大人の方へ>学校の先生・学校図書館の方へ>学校貸出のご案内)をご参照ください。ご希望の方はお問い合わせください(深沢図書館 0467-48-0022)。

※深沢図書館には児童書のリサイクル本・寄贈本のストックがあり、譲渡会を予定しています。深沢図書館での受け渡しとなりますが、希望しますか? ご希望の施設へご案内を差し上げます。

1 希望する 2 希望しない

(ご意見: _____)

3 本の読み聞かせについて教えてください。

- 1 行っていない
- 2 定期的におはなし会を行っている(クラスなどで毎日1冊読むなども含めてください)
- 3 1対1または少人数で読み聞かせを行っている(子どもに求められた時だけ読む場合も含めてください)

※鎌倉市図書館から訪問しておはなし会をしたり、日時をお約束して鎌倉市図書館に来館していただき、おはなし会をすることもできます。
図書館ホームページ(こどもページ>大人の方へ>よみきかせに関わる方へ>訪問サービス)をご参照ください。
ご希望の方はお気軽にご連絡ください(玉縄図書館 0467-44-2218)。

4 読書バリアフリーに関して、教えてください。

障害のある子や海外にルーツのある子への読書をサポートしていたら、どんなサポートをしているか教えてください。
たとえば、外国の絵本を所蔵している。布絵本や点字絵本などさわることでも内容が伝わる図書を所蔵している。
日本語が読めない場合、通訳して、読んであげる。体が不自由な子に本のページをめくってあげる等。

5 読書について、独自に取り組んでいること、困っていることやサポートが必要なことがあったら、教えてください(例えば、施設で作成したブックリストを保護者に配布しているなど)。

記入された方のお名前をご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

【施設】鎌倉市内の子ども関連施設における読書環境アンケート集計結果2024

第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画を推進していくにあたり、子ども関連施設の読書環境を把握するため、令和6年（2024年）5月にアンケートを実施しました。

鎌倉市内の保育園、幼稚園、認定こども園、放課後子どもひろば・子どもの家、子育て支援センター、支援学校、児童発達支援施設、放課後等デイサービス、フリースクールの104施設に依頼し45施設から回答を得ました。

（FAX29件、e-kanagawa16件）

回答率は43%、回答者のうちe-kanagawaでの回答率は35%でした。
 子どもの読書環境について定点観測し、今後の読書環境整備に役立てます。

2023年度の集計結果はこちら

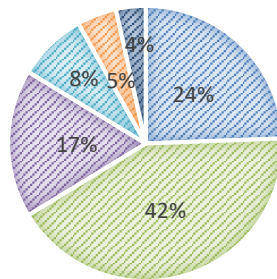


【回答施設の内訳】

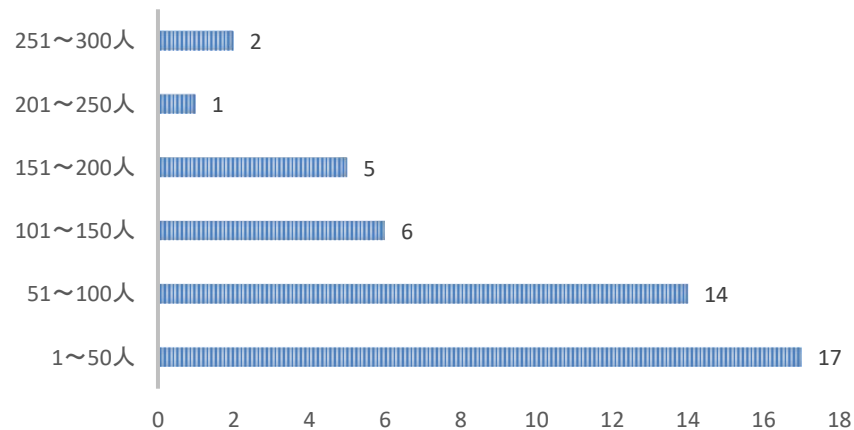
民間保育園11、公立保育園3、幼稚園11、認定こども園1、
 放課後子どもひろば・子どもの家7、子育て支援センター3、
 支援学校1、児童発達支援施設・放課後デイサービス7、
 フリースクール1

施設の対象者（複数回答可）

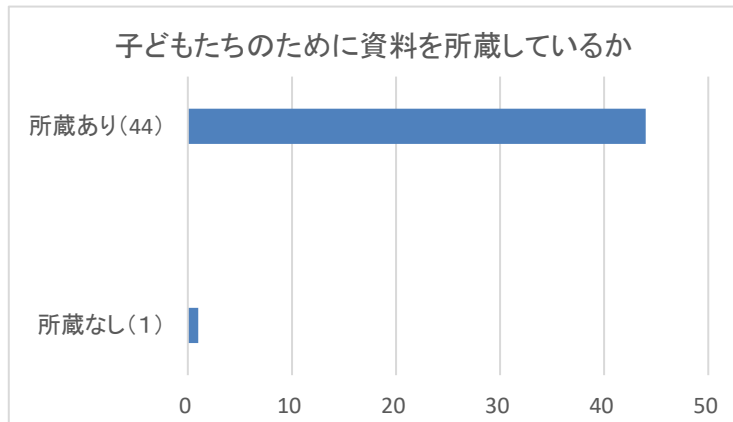
- 1 乳児(21)
- 2 幼児(36)
- 3 小学生(15)
- 4 中学生(7)
- 5 高校生(4)
- 6 その他(3)



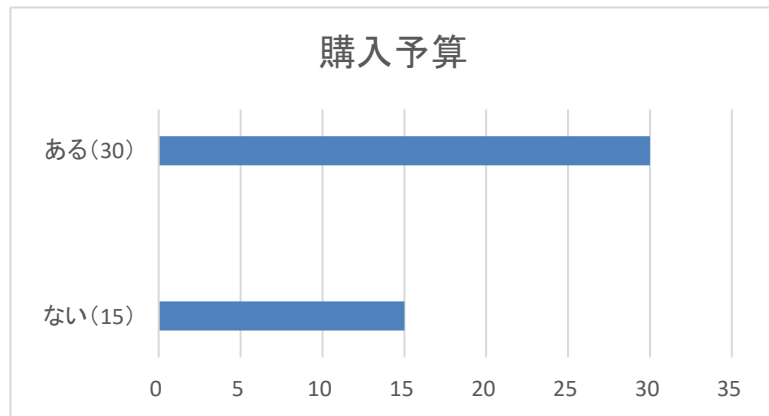
施設の利用人数



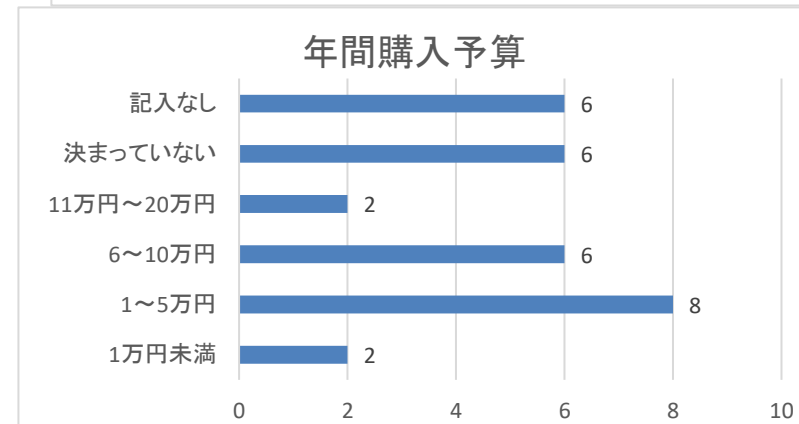
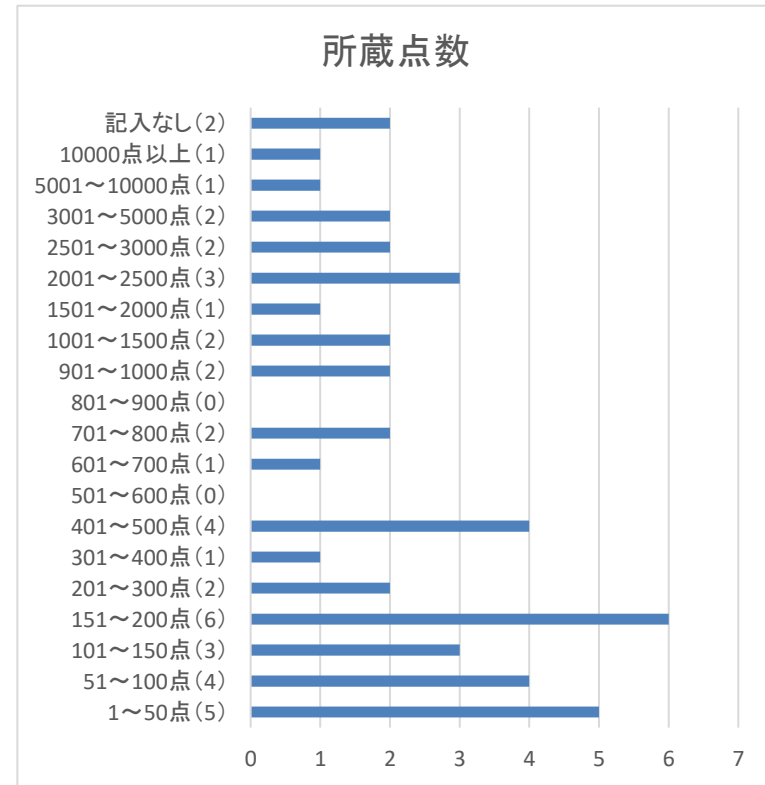
※単位について記載のない数値は施設数を表しています。

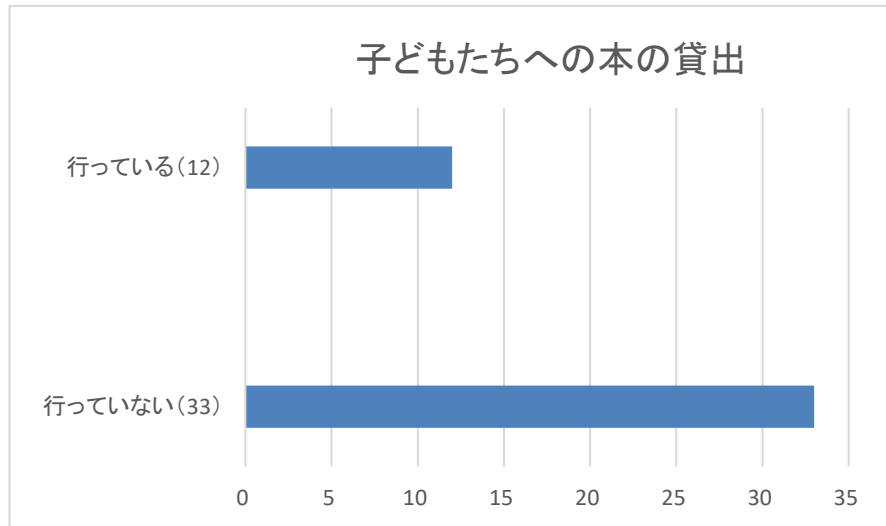


ほとんどの施設で子どもたちのために資料を所蔵しています。利用人数の規模の関係もありますが、昨年度より、1001点以上所蔵している施設も増え、読書環境が充実しています。



購入予算については、今年度はある施設がない施設の2倍となり、購入予算をもつ施設が増えています。金額も10万円以上の施設が増えています。継続した資料の購入につながるため、金額が少なくても予算化されていることが重要だと考えます。





本の貸出を行っている12施設について

【貸出点数】

1点 4施設

2点 3施設

3点 4施設

無回答 1施設

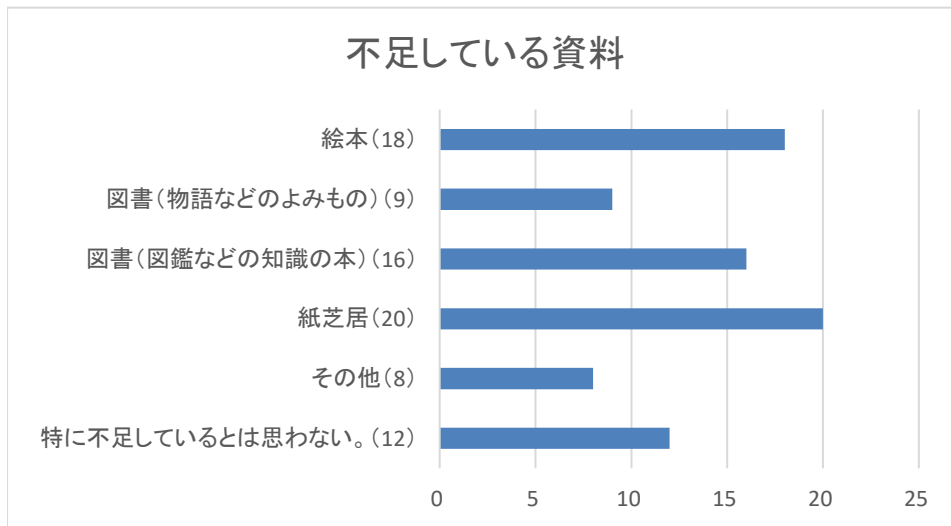
【貸出期間】

3日間 2施設

1週間 6施設

2週間 1施設

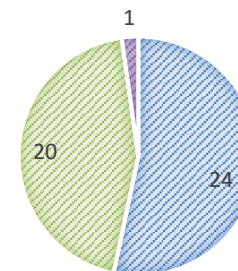
決まっていない 2施設



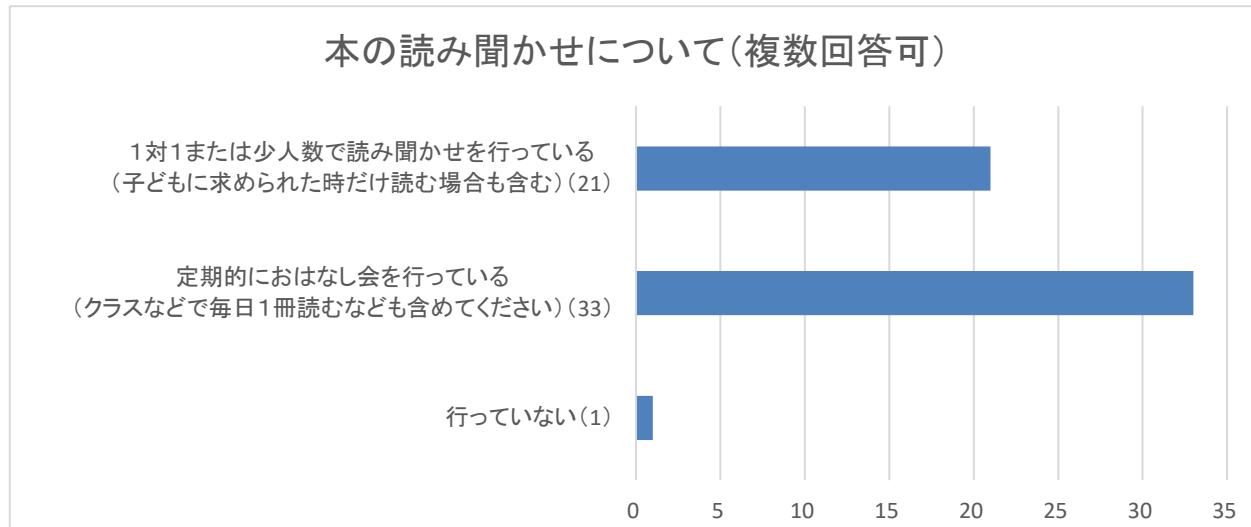
貸出せず、施設を利用しているときに、読んだり、読み聞かせを行うことが多いようです。

リサイクル図書の希望について

■ 希望する(24) ■ 希望しない(20) ■ 回答なし(1)



リサイクル図書の配布方法を検討し、ご希望の施設へお知らせします。



回答のあったほとんどの施設で読み聞かせが行われています。

【施設】読書バリアフリーについて

《障害のある子どもへのサポート》

- ・バリアフリー絵本や布絵本を所蔵している。
- ・大型絵本を所蔵している。
- ・少ないですが点字本、大型本を揃えている。
- ・障がいについて考える絵本や書籍を揃えている。
- ・ストーリーのある絵本よりも感覚的(オノマトペ)な内容や身近なもの(やさい・くだもの・どうぶつ)大きな本、手遊びなど。
- ・現状では、電動車いすで来所し、自力で施設内で過ごす児童が1名いるが、介助としては、本を取って渡す、場合によっては、ページをめくる程度のサポート。
- ・手に届くところにあり、自由に見られる環境が理想的だと思うが、破ってしまうことも多い。また、唾液など、口に入れたりすることも多いので、多少制限してしまうことがある。破れにくい本があると助かる。興味のありそうな時に一緒に読んだり、指さした時に答えたり、朝の会などで、読み聞かせを行ったりしている。
- ・障害のあるお子さんに対しても0、1歳児のお子さんと同じ対応をしている。
- ・障害のある子にはその子の発達に合わせた本の選択や読み方を行っている。
- ・年齢ではなく、発達段階に応じた絵本を選んでいる。
- ・発達支援の施設なので、静かな空間でマンツーマンで、絵本を読むことがある。
- ・興味が薄い方もいるが、絵本だけではなくおもちゃなども持たせつつ、注目できるように配慮しながら行っている。

《海外にルーツのある子どもへのサポート》

- ・英語の本は3、40冊ありますが、あまり活用されていない。
- ・海外にルーツのある子どもは、ほとんど両親のどちらかが日本人であるため、読み聞かせも日本語で行っている。
- ・英語の絵本を所蔵している。
- ・英語の絵本を数冊用意している。
- ・英語の本は数冊程度所蔵している。読み聞かせを積極的に行っている。
- ・原書(英語)の絵本を揃えている。
- ・英語の本もたくさんあり、ネイティブの先生が海外にルーツのある子限定ではなく、そんな機会(読み聞かせ)がある。
- ・外国の絵本も数冊所蔵している。

《その他》

- ・(幼稚園の)図書室がいつでも使えるようになっているので、個々に自分にあった、そして好きな本を手にする機会が常にある。
- ・個別対応に応えられるようにしている。
- ・保護者が行う読み聞かせ会「ちゅうちゅう会」にて、海外にルーツのある保護者が母語で読み聞かせを行うこと、聴覚障がいの保護者が手話で読み聞かせを行うこと等があった。在籍する子ども、保護者のルーツや背景に応じて、様々な取り組みを行っている。

【施設】読書について(独自に取り組んでいること、困っていること)

《独自の取り組み》

- ・午前と午後の2回、其々の終了時間に使った玩具などを片付けて貰った後、スタッフによる絵本の読み聞かせを行っている。
- ・毎月定期的に図書館員によるお話し会を行っている。
- ・今年度、玉縄図書館と共催で「妊婦さんとよちよち歩きまでの赤ちゃんと楽しむおはなしかい」を子育て支援センターで行う。
- ・保護者による読み聞かせ会「ちゅうちゅう会」を毎月開催している。手遊びや寸劇も含めて雰囲気がよく、子どもに好評である。
- ・絵本について語り合う「絵本の会」を毎月開催している。保護者中心で企画運営している。様々な分野に話が広がり、まじめに楽しい雰囲気である。
- ・子どもの絵本の貸出管理を保護者が担っている。子どもたちがどのような絵本に関心を持っているのか、保護者同士が把握している。
- ・保護者主催のマルシェにて古本屋を出店している。
- ・保護者がレシピ本や手話の本など、独自の本を作成し、マルシェで販売している。
- ・福音館の「こどものとも」を月1冊、幼稚園から子どもたちにプレゼントしている。
- ・クラスにて帰りの時間帯などに読み聞かせを行っている。
- ・園のホームページの園長ブログにて新しい絵本や保護者にお勧めの書籍等、又、感じたことを発信している。
- ・月に2回程度、絵本の貸出を行っている。図書委員の保護者が係となり、子どもの選んだ本を図書カードに記入。週末に自宅に持ち帰り、週明けに返本。絵本の受け取り、整理、補修も委員の仕事である。
- ・夏休み前に「夏休み帳」を配布。その年のテーマに沿った推薦絵本を挙げ、各家庭でテーマについて考え、行動するよう働きかけている。
- ・バザーの時は、絵・紙芝居の読み聞かせを行っている。
- ・保護者を対象にし、月に一度、読書会を開催している。
- ・園内に図書コーナーを設けていて、送迎時に親子で読んでいる姿がみられる。
- ・海外(日本語)の絵本は、色使いや絵が見ているだけでも楽しいので、定期的にレンタルし、子どもたちに提供していた。
- ・絵本コーナーをつくっている。送迎時使用してもらっている。
- ・絵本シネマ。良い本がたくさんあるが、絵本にふれる機会を多くしたいと思い、絵本シネマを導入した。

<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の貸出システムを作り、PCを使って、自分が(子ども自身が)操作して貸出、返却を行なえることも楽しみとなっている。ブックリストなどは配布していないが、年間貸出、購読した本のリスト、冊数の記録を個別に知らせている。 ・長期休みの際、お昼ごはん時間後に各自で図書室から選んできた本を読むリラックスタイムをつくっている。 ・子どもが図書委員会をつくっている。毎月5000円を予算にブックオフ等で購入。児童が買いに行っている。またアンケート(子どもが実施)して、購入すべき本を決めている。 ・子どもにリクエストを聞き、流行りの本を購入している。 ・図書館が近いので子どもから希望があるときは図書館と一緒に借りに行く。 ・静かに過ごす時間に全員で読書をしている。 ・長期休みは、朝の学習時間内、お昼ご飯の後に毎日読み聞かせを行っている。 ・学童保育の児童は、おやつ時間に短いお話しを読んでいる。 ・読み聞かせした本の題名は、控えてあるので、今年はリスト化したいと考えている。 ・読み聞かせボランティアの方に来ていただき、プログラムとしての読み聞かせも実施している。 ・昨年のクリスマス会には、子ども達が考えたお話で、オリジナル紙芝居を作成し、クリスマス会に披露した。自分たちの施設が舞台のお話で、大変好評だった。 ・保護者の参加するイベントで理事会が古本屋を開いている。
<p>《困っていることなど》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番の課題は配架スペースが狭いこと。図書室がない為、図書コーナーとしてオープンスペースの場所を使用しているが、書棚が不足していたり、その場で読書をするスペースが設定できていない。 ・困っていることは、本が古くなり、修復が必要だったり、買い替えが必要と感じている。 ・子どもたちに色々な本を読んであげたいが、園としての専用の予算はなく、ほとんど絵本は寄付や職員持ち寄り(私物)になっているのが現状。もっと本に興味をもってもらえる環境づくりが必要。年長さんが図書館に行ったり、園に貸出をしてもらえたりできるとよいが。おすすめ絵本を教えていただけるのも保護者には良い機会。各年齢ごとのおすすめの本をセットで貸し出してくださると本当に嬉しい。
<p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは自由に過ごせる学童において、ゆっくり漫画を楽しんでいる。教育的に良い人気漫画を教えて欲しい。 ・注意が散漫になる子が多いので、間延びしないようにテンポやリズムに気を配っている。 ・本の読み聞かせ以外の活動があれば参加したい。又、事業所に来て頂けるかも知りたい。(パネルシアター・人形劇・手品など) ・株式会社でも借りられるようにして欲しい。 ・布・点字の本がないに等しいので、布の本の良さ、点字を知るきっかけ等、先生も理解し、子どもたちの触れる機会を作れたらと思う。園の図書コーナーを少しずつリニューアルしているが、子どもたちがよりわかりやすい、展示の仕方や楽しくなるコーナー作り等、基準であったり、アイデアだったり、知りたい。(絵を描いた人なのか、文を書いた人なのか、どちらで分類するのかななども悩む。図鑑も科学も、幅広く、悩む) ・読み聞かせ(訪問)をコロナで見送っておりましたが、長期休み期間に再開しては・・・と声が出ている。日程を考え、お願いしたい。大型絵本、ペープサート。(じっと座って聞くことは少し難しいので、わいわいして楽しい感じになれば・・・)

新しい深沢図書館について～懇談会を中心とした今までにでた意見～

項目	意見
子ども読書活動を推進するための 保管・作業スペース、人員	学校図書館との連携のための資料保管スペースや作業スペース
	子ども読書推進の拠点館として専用の図書作業のためのスペースを確保する
	学校貸出の拠点となる図書館の機能をそなえた図書館 (学校貸出用の本を保管するスペース)
	子ども読書活動推進計画が推進できるスペース、書庫
	子ども読書活動支援の拠点である深沢図書館で、そのための作業や活動全般が行いやすい職場環境を整える
	学校図書館と公共図書館の連携がしっかり進むためのスペースの確保、人員(司書)の配置
	学校搬送の拠点として学校関係者の選書スペース
ゾーニング	赤ちゃん連れの保護者の方がわいわい話せるスペース
	子どもがねころんで本を読めるスペース
	子どもが自由に動ける広々としたオープンスペース
	半屋外で風に吹かれて木かげで気楽な姿勢で気がねなく読書したい
	ゆっくり読書、勉強できるスペース
	子どもに読み聞かせる時、周囲を気にせず声を出せる場所
設備	よみきかせを親子一組でできる穴ぐらのようなスペース
	こども用カウンター
	手荷物ロッカー(荷物をおいて読書、勉強できるように)
	車いす・ベビーカーで移動できる広い書架
	手に取ってすぐに読めるソファやベンチ
	おはなしの部屋(靴を脱いであがる場所)があるとよい
	大きな遊具やベンチ
	採光を工夫して明るくする
	木のぬくもりや視覚的にリラックスできる色使い。
	机の近くにベビーベッドを置き、子ども一緒に来館する人のニーズに応える
	子どもと一緒に入れる大人用のトイレ
	児童コーナーに子ども用のトイレと洗面台
	男女関係なく使えるおむつ替えスペース
ベビーカーや車いすでも通りやすい書棚・通路・お手洗い・授乳室	

学校の学習活動がわかるコーナー	学校での授業や活動の様子がわかるコーナー
	学校図書館と連携し、小中学生が今どのように勉強しているか、子どもと大人の共有
交流・イベントの充実	本のシェア会（大人・子ども）
	わらべうたや、てあそびだけのおはなし会
	マンガにからんだYA向けイベント
	図書館クラブ（中高生が部活のように図書館に関わるクラブ）
	子供向けイベント。市民の方や団体の方と一緒に
本との出会い	子どもと本を結ぶわくわくするコーナー
	たくさんの絵本展示スペース（面出ししてその場で借りることができる）
	紙芝居舞台を児童コーナーに常置
	深沢図書館以外の蔵書を見られる書棚(他館本の展示や定期的な蔵書の入れ替え等) →様々な本位触れるチャンス
	不登校や多様な学びに対応した蔵書構築
	新しい絵本やよみものなどの子どもの本がいつでも読める図書館
	日本のマンガの海外版や、海外の名作のマンガも読みたい
サービス全般	多言語対応の強化（職員のレベルアップ・館内の表示の多言語化）
	市役所で用事をすます間、絵本などを読んで待ってくれる託児スペース
	読書通帳を作ってほしい